

「河川砂防技術研究開発」(平成24年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
河川堤防の複合外力に対する総合的安全性点検のための解析手法と対策工法に関する技術研究開発 (研究期間:H24年~H26年)	愛媛大学 教授 岡村 未対	A
<研究概要> 本研究では、外水や降雨、地震力の複合作用に対する堤防の応答を評価できるよう解析法を高度化するとともに、実務的な安全性評価手法の改良・開発を行った。また、複合作用に対する既存の対策工法の効果を検証すると共に、新たな対策工法を検討した。さらに、東日本大震災で多発し顕在化した堤体内液状化の評価法とともに、堤体内の水位調査法を開発し実用化した。		
<事後評価コメント> 実験的、解析的なアプローチで物理現象を詳しく解析し評価解析手法を進展させ、堤防の新たな破壊条件を明らかにしており、例えば、現場の堤防の安全性点検につながる地盤の粒径や透水係数、堤敷幅や水圧など新たな見方を示した点は評価できる。研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 今後、得られた研究成果を学術的な知見に留めることなく現場の実務において活用されるよう更なるとりまとめの工夫をすることを期待する。 なお、今後さらに研究を進展させる過程において、計算プログラム等の成果の一部をオープン化することについても検討することを期待する。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い